

経営協議会議事録  
(平成29年度第3回)

平成29年9月15日(金)  
13時20分から15時00分まで  
法人本部3階「第一会議室」

出席者

議長	小山清人					
委員	相澤益男	井上弓子	里見進	里村正治	ストロナク・ブルース	
	中野光雄					
	安田弘法	久保田功	大場好弘	阿部宏慈	小島浩孝	根本建二
監事	渡辺均	竹内千春				

欠席者

委員 佐藤秀之 吉村美栄子

議長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告があった。

- 1 経営協議会議事録(6月21日開催)の確認  
議長から、前回6月21日開催の本会議の議事録(案)が確認され、議事録が確定した。
- 2 【協議】国立大学法人山形大学会計規則の一部改正について  
小島理事から、国立大学法人における株式及び新株予約権を取得する場合の取扱いが変更(規制緩和)されたことに伴い、所要の改正を行うものである旨、説明があった。  
次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。
- 3 【協議】有期雇用契約職員の無期転換に伴う関係規則の整備について  
阿部理事から、労働契約法第18条の規定に基づき、雇用期間の定めのある職員の通算雇用期間が5年(研究開発能力強化法適用者は10年)を超えた場合で、雇用期間の定めのない職員への転換する場合の取扱いに伴う関係規則の整備を行うものである旨、説明があった。

本件に関して、主な意見等は、以下のとおり。

- ・同一労働、同一賃金ということに関して、問題に対応するための政策や対応策を持っておく方が良いのではないか。
- ・条件を満たすと無期雇用への転換を申し出ることができるとしているが、その後の判断基準について、条文で一切触れておらずわかりにくいのではないか。後々、どこかで歪みが出てくる可能性があるのではないか。

次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

4 【報告】平成28年度の実績に係る組織評価結果について

久保田理事から、平成29年6月21日に実施した平成28年度実績に係る組織評価の評価結果の集計及び当該結果に基づくインセンティブ経費の配分に関して、報告があった。

本件に関して、主な意見等は、以下のとおり。

- ・評価の仕組みは、内部の緊張感を高めるのに非常に効果があるのではないか。
- ・良い研究者を採用することで、良い学生が入ってくると考えられるので、人事権を各キャンパスに持たせたほうがいいのではないか。

また、評価を行うときに大学全体として方向付けを行っているか及び各キャンパス長のインセンティブ経費に対する責任権限について確認があり、各キャンパスで目標を作成し、ヒアリングを行いながら大学の方針とすり合わせていることと、キャンパスの予算に対して3割、4割がキャンパス長の責任となる旨、説明があった。

5 【報告】平成28年度財務諸表の承認について

小島理事から、議題に関して、平成29年8月31日付けで文部科学大臣から通知があった旨、報告があった。

6 【報告】平成30年度概算要求概要について

小島理事から、本学における平成30年度運営費交付金概算要求の概要及び国立大学法人における運営費交付金等概算要求額の概要について、報告があった。

本件に関して、主な意見等は、以下のとおり。

- ・運営費交付金の基幹経費化等については、各大学で極めて戦略的重要なものを優先しているが、KPIによる厳しい評価があるので、中身を真剣に考慮し提案するといいいのではないか。

7 【報告】平成31年度大学院改組の構想について

小山学長から、平成31年度設置予定の研究科に関して、構想、検討状況、文科省事前相談の主な指摘事項について、報告があった。

8 【報告】医学部医学科の入学定員・収容定員について

久保田理事から、平成29年度で終了する医学部医学科入学定員15名の臨時定員増の暫定措置について、文科省から当該臨時定員増を15名を上限として再度定員増を認める通知があり、山形県知事との間で協議を行い、来年度は10名の臨時定員増として申請を行った旨、報告があった。(本学における臨時定員増の総数としては、25名増から20名増となる。)

9 【報告】就職内々定状況(9月1日現在)について

安田理事から、9月1日現在の就職内々定状況について、報告があった。

10 【報告】各種事業の採択・申請状況について

安田理事から、教育関連事業の採択・申請状況について報告の後、大場理事から、研究関連事業の採択・申請状況について、報告があった。

本件に関して、主な意見等は、以下のとおり。

- ・プロジェクトのキーワードを設定すると、学生の向上心を掻き立てる側面と義務的なもの押し付ける側面があると考えられるが、精神的なバックグラウンドを強化していくということであれば、大学側のプログラムに対する取り組み、指導する方々が相当強固な意志を持つ必要があるのではないか。

11 【報告】山形大学米沢キャンパス学生寮整備等事業の進捗状況について

小島理事、山形大学米沢キャンパス学生寮整備等事業について、事業者の決定及び事業内容等について、報告があった。

なお、地元企業の応札及び学生寮に関する詳細について確認があり、入札に至るまでには、地元企業も説明会の参加はしていたが、本学の要望等で入札に参加することは厳しいと地元企業が判断したことと、学生寮の寮費について、混住型の寮であること等について、説明があった。

12 【報告】平成29年度大学院入試について

大場理事から、平成29年度秋入学が確定したことに伴い、各研究科における定員充足率について、報告があった。

本件に関して、主な意見等は、以下のとおり。

- ・将来的には、博士課程を出ることが一般的になる可能性も考えられるので、高学歴化をもっと進めていかないと、今の技術についていけないようなレベルになるのではないか。
- ・将来のプランとして、充足率が90%未満のプログラムについて、学長の判断で3年なら3年という期間を設けて廃止することも検討していく必要があるのではないか。
- ・大きなことに取り組む時は、3年後とかのビジョンを描いて、プロセスを決めてプランを作っていくといいのではないか。
- ・大学院の学生定員の充足率の問題で、研究科の設置、あるいは改組等の研究に関する部分が大きくなっており、教育組織だけで問題を検討していくのが非常に難しいので、全体の構想を総括する仕組みが必要ではないか。

13 【報告】職員の懲戒について

(「国立大学法人山形大学職員の懲戒の手続に関する規程」  
第32条第2項の規定により非公開)

14 その他

小山学長から、山形大学の大学改革(平成29年～31年)について、経営及び教学の観点から、説明があった。

本件に関して、主な意見等は、以下のとおり。

- ・内部統制室を作って、各キャンパスを監査するような組織があると全体の構想等をチェックできるのではないか。
- ・大学のカリキュラムと教員のシラバスの関係性について確認があり、大学のカリキュラムについては、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーが、学部、大学院共に授業目的、授業目標にどう対応しているかをチェックしており、シラバスについては、大学全体の方向性、各教育プログラムの方向性がシラバスに記載されているかをチェックしている旨、説明があった。

次いで、阿部理事から、本学に関する訴訟について、報告があった。

また、小山学長から、平成30年度国立大学法人山形大学経営協議会日程（案）について、説明があり、後日、正式に通知することとした。

今回は、平成29年11月20日（月）に鶴岡キャンパスで開催することとなった。